

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																												
大村美容ファッション専門学校	平成4年3月31日	斉藤 ちづる	〒810-0055 福岡県福岡市中央区黒門2-6 (電話) 092-733-1766																												
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																												
学校法人大村文化学園	平成4年3月31日	理事長 大村 陽之介	〒810-0055 福岡県福岡市中央区黒門2-6 (電話) 092-733-1766																												
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																											
衛生	美容専門課程	トピスタイリスト科	平成28年文部科学省 認定	-																											
学科の目的	上級学科のトピスタイリスト専攻科(1年制)と合わせて3年間学ぶことを前提として、美容師免許の取得のみならず、一流サロンへの就職や独立などを 目指す為の学科です																														
認定年月日	平成29年2月28日																														
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																								
2年	昼間	2010	630	0	0	0	1380																								
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																										
40人	25人	0人	2人	4人	6人																										
学期制度	■前期:4月1日~9月30日 ■後期:10月1日~3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 各学期末におこなう試験、実習の成果、履修状況などを総合的に勘案																											
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:8月1日~8月31日 ■冬季:12月20日~1月11日 ■春季:3月13日~4月11日		卒業・進級 条件	必要な時間数を履修している 教科課目の3分の2以上出席 学期末試験において、すべての科目が60点以上																											
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 本人・保護者と面談等をおこなって対処		課外活動	■課外活動の種類 町内行事への参加、学生自治組織、清掃ボランティア ■サークル活動: 無																											
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) PEEK A BOO、KING DOM、MSLASH		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業者に関する令和3年5月1日時点の情報)																											
	■就職指導内容 就職ホームルームによる担任からの指導 就職担当職員による個別の面談指導 など			<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>美容師国家試験</td> <td>②</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>色彩技能パーソナルカラー検定</td> <td>③</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>ボディージェリー</td> <td>③</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>松風公認ジュニアインストラクター検定</td> <td>③</td> <td>6</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>準パーソナルヘアカラー診断士</td> <td>③</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	美容師国家試験	②	7	7	色彩技能パーソナルカラー検定	③	7	7	ボディージェリー	③	1	1	松風公認ジュニアインストラクター検定	③	6	2	準パーソナルヘアカラー診断士	③	7	7
	資格・検定名	種		受験者数	合格者数																										
	美容師国家試験	②		7	7																										
	色彩技能パーソナルカラー検定	③		7	7																										
	ボディージェリー	③		1	1																										
松風公認ジュニアインストラクター検定	③	6	2																												
準パーソナルヘアカラー診断士	③	7	7																												
■卒業生数 : 8 人																															
■就職希望者数 : 0 人																															
■就職者数 : 0 人																															
■就職率 : 0 %																															
■卒業者に占める就職者の割合 : 0 %																															
■その他 ・進学者数: 7人(当校のトピスタイリスト専攻科に進学)																															
(令和 2年度卒業者に関する 令和3年5月1日 時点の情報)																															
中途退学 の現状	■中途退学者 2名 令和2年4月1日時点において、在学者23名(令和2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者21名(令和3年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 学校生活不適合、病気		■中退率 9%																												
■中退防止・中退者支援のための取組 日頃からの気配りや声掛けなどの強化、早めの気付きによる個別面談等の対処																															
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有・無 ※有の場合、制度内容を記入 成績と面接で選考する特待生制度、スカラシップ制度		■専門実践教育訓練給付: 給付対象(非給付対象) ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																												

第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価： 有(無) ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)
当該学科の ホームページ URL	http://www.omufa.com/

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

当校が目指す「即戦力となる人材育成」を実現させるために、流行や変化の激しいファッション業界の動向に常に目を向け、授業科目についての進行過程や指導方法、授業をおこなう環境や使用する教材などの細かなところまで情報提供をおこなった上で、現在の業界において実際に必要な技術や知識を基として、企業や業界団体から改善点などの意見や要望をいただき、それを反映させた実践的なカリキュラム構築をおこないます。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学科ごとに教育課程編成委員会を設置(学則に記載)

- ① 本校教務課長から、次年度教育課程を教育課程編成委員会に提案
- ② 委員会で内容を検討
- ③ 意見や改善案を理事長に提出
- ④ 委員会からの意見・改善案を加味して、学校長が次年度の教育課程の内容を決定

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年10月1日現在

名前	所属	任期	種別
栂島 里枝	ポティージュエリスト検定 (協会株式会社Crazy Carats)	平成31年4月1日～令和3年 3月31日(2年)	①
田中 征洋	株式会社 ダム	平成31年4月1日～令和3年 3月31日(2年)	②
甲木 輝彦	ビューティービジョン協同組合	平成31年4月1日～令和3年 3月31日(2年)	②

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ① 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ② 学会や学術機関等の有識者
- ③ 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(9月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和2年9月24日 10:00～11:00

第2回 令和3年2月25日 10:00～12:00

0

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

- ・インターンシップに受け入れているが、3日は少なすぎるのではないか？
やって慣れたらバイバイ そのため洗い物などはさせない 美容師の楽しさを教えている
⇒ 就職課(塩飽さん)も含め 5日～10日で検討する。
(時期やサロン様が必要)
- ・M科の立ち居振る舞いは非常にいい。(カウンセリングコンテストがあるからか?)
商品説明(ヘアケア)などが出来ると、コミュニケーションも取れていいのでは？
⇒ Oデザで相モデルでの授業を導入検討
- ・技術はカラー(塗布)やシャンプーができれば、サロンに入ってから自信になるので
こそその技術指導はあるといい
・シャンプーはバックシャンプーの指導もほしいが、手が動く方がいいので(サイド)
どうなのかなと思うが、しっかり練習してもらっておくとカラー同様にいい
⇒ シャンプーテストの構築 (早めに合格)
カラーの回数を増やす検討する。
- ・モデルハントも全てインスタでやっている。外で声をかける事は無い
学生のうちからフォロワー数の多い学生は、サロンの顧客も多くなる。
入学して卒業までにインスタのアカウント(美容)で作らせ、順位を付けるなど
見せ方(映え)をやってもらおうと良いのではないか？
就職にかなり有利になってくる。
⇒ 次年度学生に美容で新しいアカウントを作成し、試してみる。
- ・辞めない対策として、3年後の自分、5年後の自分など計画をたてたり
学校の指導も続けることで楽しさ(美容)があることを、言い続けてほしい。
⇒ キャリア教育の中で、何かしらの対応が必要

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

コミュニケーション能力を持ち、顧客のニーズに合わせて柔軟に対応できる現場で即戦力となる社会人の早期育成をおこなうことを目的として、移り変わりの激しい業界の現在の状況を基にした指導や審査をおこなっていただき、自分に不足しているのは何なのか、実際に働く上で何が重要なのかを、学生自身に実体験として理解させることにより目標が明確になり、高い職業意識を持った人材の育成をおこないます。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

実務実習として実地研修(インターンシップ)をおこない、学生が企業スタッフの一員として補助的作業等の現場体験をし、企業にその指導をおこなっていただきます。

学生は、実際に企業に身を置き、実体験に基づいて指導を受けることにより、何が必要なスキルや能力なのかを学び、自分がすべき事は何かを自己分析して意識の向上を図ります。

学生は、実地研修レポートに目標とそのために取り組んだ事、企業から指導を受けた内容や自身の自己評価などを記入して、それを企業に提出して評価・アドバイスをもらった後、企業から学校へ提出されます。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
美容実習	インターンシップという業界経験を通して、美容師の仕事を理解することにより、自分の将来の美容師像の明確化、就職意識の醸成を図ります。	ビーハイブデラックス、Daisy、Plas ss 他

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教育研修規程により、推薦学科における実践的職業教育の内容充実を目的として、その任にあたる教員の、ファッション業界における専門知識の向上及び教育者としての資質の向上を目的とする。特にファッション業界はトレンドの変化に敏感に対応するため情報収集力やアートや文化等幅広い分野への知識や技術、資質の向上を目的とする。

1. 教員の専門知識・技術の向上のためのプログラム

- (ア) 資格取得及び、その資格の認定講師の資格を取得するための研修
- (イ) 業界から講師を招聘し、業界の最新トレンドや技術を習得する研修
- (ウ) 企業が主催するコンテスト対策の授業
- (エ) 最先端のトレンド情報を収集しそれをデザインワークやスタイリングに活かすための研修

2. 教員の指導力向上のためのプログラム

- (ア) 組織のチームビルディングを形成するための研修
- (イ) 傾聴技法を学ぶ研修
- (ウ) 青年心理学や行動学、キャリア教育等学生のマインドを形成するための研修

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「まつ毛エクステンション指導者養成研修会」(連携企業等:日本理容美容教育センター)

期間:令和3年2月17日(月)~21日(金)、3月9日(月)~13日(金) 対象:まつ毛エクステンション担当教員

内容:まつ毛エクステンション概要、かき分け、装着、テーピング、保健(眼・皮膚に関する知識)などの講習と実践

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「新任教員研修会」(連携企業等:職業教育・キャリア教育財団)

期間:令和2年8月6日(火)~8(木) 対象:新任教員

内容:学生・教員のための実践心理、教育のあり方と授業実践、他

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「メイクアップ指導者養成研修会」(連携企業等:日本理容美容教育センター)

期間:令和3年11月16日(月)~20(金)、30日(月)~12月4日(金) 対象:メイクアップ担当教員

内容:カウンセリング、スキンケア、色彩学、ベースメイク・ポイントメイクなどの講習と実践

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「新任教員研修会」(連携企業等:職業教育・キャリア教育財団)

研修名「新任教員研修会」(連携正未守:職未教員「ヤリ」教員別出)

期間:令和3年8月19日(水)~21(金) 対象:新任教員

内容:学生・教員のための実践心理、教育のあり方と授業実践、他

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

在校生保護者・地域住民・関連企業・卒業生・業界団体の方々を学校関係者委員会のメンバーに選出し、事前に学校の理念や目的、目指す学生像を説明して充分にご理解いただき、目指すべき学校像を共通認識した上でご意見をいただき、学校運営の改善に活かしていきます。

そのために、委員会のメンバーには、自己評価の詳細はもちろんの事、評価をする上でその他の資料が必要とされれば提供をし、学校関係者への透明性を一番大事におこなっていきます。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか) ② 学校における職業教育の特色は何か ③ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか ④ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか ⑤ 各学科の教育目標、育成人材等は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか
(2) 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ① 目的等に沿った運営方針が策定されているか ② 運営方針に沿った事業計画が策定されているか ③ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか ④ 人事、給与に関する規程等は整備されているか ⑤ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか ⑥ 業界や地域社会等に関するコンプライアンス体制が整備されているか ⑦ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか ⑧ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか
(3) 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ① 教育理念に沿った教育課程の編成、実施方針等が策定されているか ② 教育理念、育成人材等や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか ③ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか ④ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか ⑤ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか ⑥ 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか ⑦ 授業評価の実施・評価体制はあるか ⑧ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか ⑨ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか ⑩ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか ⑪ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか ⑫ 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか ⑬ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか ⑭ 職員の能力開発のための研修等が行われているか
(4) 学修成果	<ul style="list-style-type: none"> ① 就職率の向上が図られているか ② 資格取得率の向上が図られているか ③ 退学率の低減が図られているか ④ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか ⑤ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか

(5) 学生支援	① 進路・就職に関する支援体制は整備されているか ② 学生相談に関する体制は整備されているか ③ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか ④ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか ⑤ 課外活動に対する支援体制は整備されているか ⑥ 学生の生活環境への支援は行われているか ⑦ 保護者と適切に連携しているか ⑧ 卒業生への支援体制はあるか ⑨ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか ⑩ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか
(6) 教育環境	① 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか ② 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか ③ 防災に対する体制は整備されているか
(7) 学生の受入れ募集	① 学生募集活動は、適正に行われているか ② 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか ③ 学納金は妥当なものとなっているか
(8) 財務	① 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ② 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ③ 財務について会計監査が適正に行われているか ④ 財務情報公開の体制整備はできているか
(9) 法令等の遵守	① 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ② 個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか ③ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか ④ 自己評価結果を公開しているか
(10) 社会貢献・地域貢献	① 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか ② 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか ③ 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

就職をしてもメンタル面が弱くて仕事に差し支えがでたり、退職をしたりするのが年々多くなっているのを感じる。企業としても対策をしていくが、学校としてもメンタル強化に注目してやっていってもらいたい
 ⇒学校としても強く感じている部分なので、キャリア教育や人格教育の中でメンタル強化をおこなうとともに、教員には学生一人一人の様子を常に確認していきながら、早めの気付き・声掛け、早めの対処を徹底するように指示をした

「学校内はスマホ禁止」などよりも、いかに使いこなせるようにするかに注目した方が、就職してからも優位に立てることが多いので、その環境や教育も視野に入れた学校運営を考えていくのもいいのではないかと
 ⇒次年度中に全ての教室でWifiを整備して、まずは校内環境を整えるようにした

モデルハントを積極的にに行い勉強になっているが、自分からしたらスタイリストの動きに違和感がある。「スタイリスト対応」ではなく、「教員対応」になっている。(上からの物言い、自分がやってしまうなど)

学生にもっと(一般の)サロンモデルをやって欲しい。

⇒教員の意識が強くて自分達では気付きにくい意見だと思うので、時と場合によっては「学生が目指す職業の経験者」として 臨機応変に指導にあたるように、改めて教員に周知をした

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年10月1日現在

名前	所属	任期	種別
甲木 輝彦	有限会社KATSUKI (ビューティビジョン協同組合)	R2年4月1日～R4年3月31日 (2年)	企業
隈本 達也	有限会社ダム	R2年4月1日～R4年3月31日 (2年)	卒業生、 企業
佐藤 安彦	㈱ぼたんや	R2年4月1日～R4年3月31日 (2年)	企業
津田 鶴太郎	津田産業㈱	R2年4月1日～R4年3月31日 (2年)	企業

松原 弘伸	(株)アスリード	R2年4月1日～R4年3月31日 (2年)	企業
吉田 二三男	黒門東部自治会	R2年4月1日～R4年3月31日 (2年)	地域住民
金森 理奈		R1年7月1日～R4年3月31日 (2年9ヶ月)	保護者
#REF!	#REF!	#REF!	#REF!

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他())
URL: <http://www.omula.com/>
公表時期: 令和3年10月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

当校の教育活動や学校運営の状況などの情報を提供することにより、学校と学校関係者との共通理解を深め、強い信頼関係の構築を目指す。

特に、以前には公開していなかった学校評価や財務状況などについてを公開することにより、今まで以上に学校のことを知ってもらい、更なる教育活動の活性化や課題の解決、学校運営の円滑化につなげ、実践的職業教育学校としての社会的向上に努める。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	・学校の目標及び計画、経営方針、特色・校長名、所在地、連絡先等・学
(2)各学科等の教育	・収容定員、在学学生数・カリキュラム・卒業の要件等(成績評価基準、
(3)教職員	・教職員数(職名別)・教職員の組織
(4)キャリア教育・実践的職業教育	・就職支援等への取組支援
(5)様々な教育活動・教育環境	・学校行事への取組状況・課外活動(ボランティア活動等)
(6)学生の生活支援	・学生支援への取組状況
(7)学生納付金・修学支援	・学生納付金の取り扱い(金額、納入時期等)・活用できる経済的支援措
(8)学校の財務	・収支報告書、財産目録
(9)学校評価	・自己評価・学校関係者評価の結果・評価結果を踏まえた改善方策
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他())
<http://www.omula.com/>

授業科目等の概要

(美容専門課程トップスタイリスト科)																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
1	○		関係法規・制度	美容師免許の取得方法や美容室（サロンの開設の届出などの美容師法を学習します。 法制度の意義、法の役割及び衛生法規などについての基礎の知識を学習します。 更に衛生行政では目的から歴史、現在の行政の仕組みを理解して、保健所について学習します。	1・2通	30	1	○			○			○		
2	○		衛生管理	美容師と公衆衛生との結びつき、発展の歴史を理解して対人的な予防医学を学習します。又、環境衛生の意義を理解し美容室（サロン）における構造設備や衣服の衛生及び、廃棄物処理や環境保全対策について学習します。 更に感染症に対しての正しい知識を身に付けて、具体的な予防方法も学習します。	1・2通	90	3	○			○				○	
3	○		保健	美容技術の基礎となる人体について、特に皮膚及び毛髪などの皮膚付属器官の構造と機能に関する科学的統計的な知識を習得し、皮膚及び皮膚付属器官の疾患の種類・原因・症状について、美容の施術と関連つけながら学びます。 また、かぶれ、アレルギーについてその発生原因と予防方法を学びます。	1・2通	90	3	○			○				○	
4	○		化粧品化学	化粧品の正確な知識と適切な施術を身に付け、正しく使用できるようになります。 また、美容の業務を安全かつ効果的に行うために、化粧品の正確な化学的知識と合理的な取り扱い方法を学びあわせて化粧品による危害を防止するための使用上の注意を身に付けます。	1・2通	60	2	○			○				○	
5	○		文化論	「美容」、「美しさ」などの言葉を理解し、美容と関わりが深い顔、化粧、髪について学習します。 美容業の歴史を知り、これまでの美容の改革を学びます。 更にファッションの面からも日本の着物・西洋文化史を学び、作品作りでのコーディネートが出来るようになります。	1・2通	60	2	○			○			○		
6	○		運営管理	美容の業である接客の基本（挨拶・返事・時間・5S）から、お客様に信頼される美容師・経営者になるための実践方法や法的義務を学びます。 夢である美容師をかなえる為の、行動や実践を行います。	1・2通	30	1	○			○			○		

7	○		美容技術理論	美容に必要な技術の解説をテキストに沿って学習します。技術の目的を踏まえて、用具の使い方などを学びます。基本技術が身に付き、応用技術に対応できる知識を学びます。	1・2通	150	5	○			○		○			
8	○		美容実習	サロンへの挨拶の為のアポイントから実際のサロンワークを通して、美容師の仕事を体験し理解を深め自分の将来を考えます。その中で学生の間身に身につけなくてはならないスキル、人間力を考察し、自分の進路について問題意識や目的意識をもち主体的に職業として関わっていく姿勢を育成させ将来の美容師像を明確にし、夢から目標に変えます。	1・2通	900	30				○	○		○		○
9	○		キャリアデザイン1	働くことの意味や、学生と社会人の違いを理解し、職業観や人生観について考えます。就職活動の考え方取り組み方を学びます。	1通	30	1	○			○			○		
10	○		キャリアデザイン2	学生と社会人の違いを理解して、就職する目的を学習します。社会、仕事、職業を学ぶことでキャリアプランを明確にし、自己理解を深めます。更にサロン見学と面接試験を踏まえた社会人マナーや基本的ルールを学習します。	2通	30	1	○			○			○		
11	○		就職セミナー1	就職活動についての注意事項・求人票の見方を学習します。サロンワークではレポートによるスキルアップを図り、本番である2年次の就職活動につなげます。更に履歴書や志望動機の書き方、会社説明会とサロン見学で得た情報の管理能力を学習します。	1通	30	1				○	○		○		
12	○		メイク	筆選びから顔の骨格・トーンの出し方等の基礎技術を学びます。相モデルでの練習により一人ひとりに合う色やラインの引き方、チークに入れ方を学ぶことにより実際に人にメイクを行うことが出来るようになります。	1・2通	90	3				○	○				○
13	○		シャンプー	人頭による練習を重ねる事によって手や体の動き、シャワーノズルの使い方などを身に付けます。ルーキーズ検定があり、目標を持って取り組む事ができます。又、実習で実際にお客様を施術する事によって、接客を含めたシャンプー技術が出来るようになります。	1・2通	60	2				○	○		○		
14	○		校内コンテスト	作品のテーマを理解し、モデル・ファッション・ヘア・メイクを考え企画書を作成します。創り上げていく中で外部講師や講師のアドバイスを参考にし、よりクリエイティブな作品へと仕上げていきます。またモデル対応やモード研究での人間力・感性を磨きます。	1・2通	60	2	○			○			○		
15	○		0. designs 教育1	0. designs運営の準備として1年次ではサロンワーク ルーキーズ検定を実施します。サロンワークの基本となる接客技術の『お迎え～お見送り』そしてドアマン、レセプションのロープレを通して練習し検定試験をおこないます。サロンの戦力として通用するアシスタント力と販売力、そして人間力を高めます。	1・2通	60	2				○			○		○

16	○	ABCコンテスト	ウィッグデザイン・メイクデザイン・アンダー23・レディスカット・メンズカットそれぞれの出場部門内容にあわせ、制作に挑戦します。	2通	60	2				○	○	○		
17	○	特別講師授業	各技術トップレベルの講師による、それぞれの授業内容です。課題ごとに技術を行いチェックしていただきます。自分の強みやトップサロンの現状も聞くことが出来、コミュニケーション力が身につきます。	1・2通	150	5					○	○		
18	○	メーカー講習	頭皮学・・・頭皮の状態及び対応方法を学びます。頭皮にあった薬剤などを選択できるようになります。 商品学・・・商品の用途や内容の理解・違いを勉強し使用方法から知識が身につき、それに伴い販売する力も所得します。 新商品・・・薬剤全般（シャンプー・パーマ・カラー・スタイリング剤など）のマーケティング状況から使用方法、効果、他商品比較まで理解します	1通	30	1					○	○		
合計				18科目	2010単位時間(単位)									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
必要な時間数を履修している 教科科目の3分の2以上出席	1学年の学期区分	2期	
	1学期の授業期間	20週	

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。